

「流域計画・流域管理課題分野」 (平成30年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
地域のタイムライン防災を軸とした住民目線での地域ハザード情報を活用した生活防災タイムラインの開発	大阪工業大学 田中 耕司	B
<p><研究概要></p> <p>本研究では、2011年に発生した紀伊半島大水害で甚大な被災経験をもつ紀宝町鮎田地区を対象に、地域の事前防災計画と住民の生活行動を結びつける生活防災タイムラインの基礎調査として、防災に結びつく生活行動の項目についてヒアリング調査を行った。地域内のハザード毎に分けた地域住民の趣味や生活行動に着目すると散歩、料理教室等、共通するところが多く、これらを地域の取り組みに考慮することで内外水氾濫や土石流の危険性がある地区住民の防災意識を向上させ地域が連携できる可能性を示した。</p>		
<p><事後評価コメント></p> <p>タイムライン防災を住民個々の意識に浸透させる取組として意義深い。また、内水氾濫解析を踏まえた地区防災タイムラインとその実践効果を検討した本研究の地域防災への貢献、意義は高いと判断する。行政・防災機関の情報と地区の知見・経験とのナレッジマネジメントが減災を実行するうえで必要である。行政のタイムラインから地区のタイムラインにどのようにトリガーが引き継がれるのかが明確になるとよかった。さらに、効果の計測方法や減災便益の計測が今後の課題と思われる。</p> <p>また、この取り組みは他の地域でも実施可能であり、長期的な実施案などがあるとよかった。</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。